



平成28年度宇佐市消防団夏季訓練



平成28年度宇佐市消防団夏季訓練を8月26日(金)に実施しました。

本年度の夏季訓練は、宇佐市総合運動場グラウンドと平成の森公園多目的運動場の2会場で消防団員・消防職員約550名が参加し、礼式訓練を主体とした訓練を実施しました。

訓練視察に訪れた信國副市長は「本年4月に発生した熊本地震では、人的被害を含め家屋倒壊等の甚大な被害が発生しました。本市においては幸いにも大きな被害はありませんでしたが、消防団の皆様方には抜群の機動力で地域住民の安心・安全の確保に努めていただきましたことに大変感謝しています。」とあいさつし、小雨が降る中、消防団員を激励しました。

救急車の適正な利用をお願いします

救急車の数には限りがあります。もし、大切な人の命が危ない時に、救急車の到着が遅れてしまったら・・・。

救急車をみんなで上手に利用して、安心な街にしたいものです。

でも、本当に困った時、様子がおかしいと思った時はためらわずに呼んで下さい！



病院に行くならタクシーより、救急車の方が早くて便利じゃないの？



宇佐市消防本部では3台の救急車が運用されています。宇佐消防署の近くで救急車を要請しても、すでに別の現場に出動していたらすぐに到着することができません。長洲や安心院から向かうことになるからです。

もしも、自分の家族や知人が救急車が必要な時、「救急車を呼んだのにまだ来ない！！」そのようなことも考えられますので、救急車の適正な利用をお願いします。



平成27年救急出動件数

	急病	一般負傷	交通事故	その他	合計出動件数
宇佐消防署	727件	203件	132件	306件	1368件
南部分署	414件	137件	43件	70件	664件
長洲出張所	464件	145件	82件	163件	854件
合計	1605件	485件	257件	539件	2886件

※前年比61件の増

第29回大分県消防操法大会 が開催されました！！



第29回大分県消防操法大会が8月21日(日)に由布市挾間町にある大分県消防学校にて盛大に開催されました。



この大会に宇佐市を代表し、第5分団（糸口分団）が小型ポンプの部に出場しました。

競技内容は、小型動力ポンプから3本のホースを延ばして素早く標的に放水し、的を落とすまでの時間や動作の正確さを競うものです。宇佐市消防団の選手たちは連日の猛暑の中で訓練し、その成果を十分に発揮しました。大変お疲れ様でした。

住宅防火

いのちを守る 7つのポイント

【3つの習慣】

- ・寝たばこは絶対にやめる。
- ・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ・ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

【4つの対策】

- ・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ・寝具、衣類及びカーテンから火災を防ぐために、防災品を使用する。
- ・火災を小さいうちに消すために住宅用消火器などを設置する。
- ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

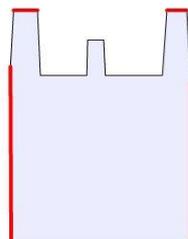
災害に備えて

知っておきたい！

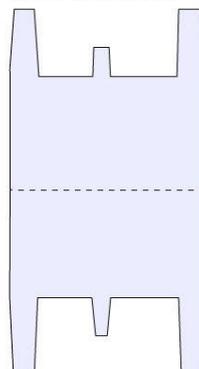
—簡易おむつの作り方—

簡易オムツの作り方-1

- ① 適当な大きさのポリ袋を用意する。
- ② 赤線の部分をはさみで切る。
(持ち手の上と、両脇)

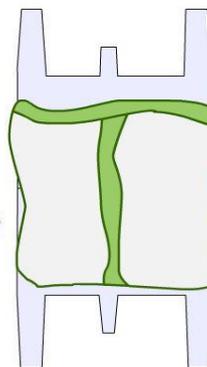
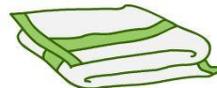


- ③ 切ったポリ袋を広げる。



簡易オムツの作り方-2

- ④ やわらかめのタオルを用意する。
(吸水性のある布でもよい)
- ⑤ 広げたポリ袋の上に、用意したタオルや布を広げて敷く。



簡易オムツの作り方-3

- ⑥ 赤ちゃんをタオルの上に乗せて、タオルを腹部まで覆う。



簡易オムツの作り方-4

- ⑦ ポリ袋の両脇を結びます。
- ⑧ はみ出したタオルを中へ。



完成

